

製造業DX支える

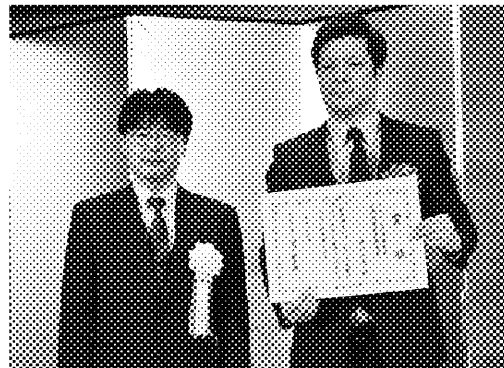
AIでNCプログラム

アルム(金沢市、平山京幸社長は、工作機械向けの数値制御(NC)プログラムを自動生成する人工知能(AI)ソフトウェア「アルムコード」を自社開発し、1月に「第9回ものづくり日本大賞」の「中部経済産業局長賞」を受賞した。今後はソフトウェアのシリーズ展開とともに新たなサービスなどを計画しており、製造業のデジタル変革(DX)への貢献に向けてさらに加速する。

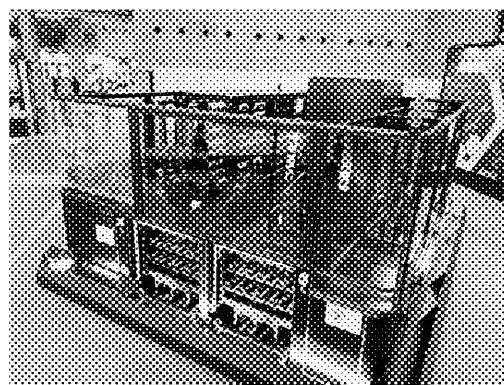
会社設立前の平山社長は建築士として働いたが、職の経験とデジタルを融合して開発したのが、1世の中の事象はアルムコードだ。20年や、アルゴリズム化で21年に3軸制御マシン「同5axis」を発売し、経営者として工場を「C」向けの「アルムコード」を手がけるようになった時、数字による市場に投入。23年7

5 次代を担う 中部企業

月には90度割り出し加工で立型5軸MC向け「同5axis」を発売予定だ。今後、複合旋盤向けや研削向けなど、さまざまな加工へと広がりを見せていくと考えた。それに合わせて、同



④3月に開かれた第9回ものづくり日本大賞記念フォーラムで中部経済産業局長賞の表彰時の平山社長(右)とアルムの完全自動化型切削加工ユニット「ITMC」。製造現場の完全自動化に向け、着々と検証作業を進める



トを使い放題にする。収で自社の売り上げにとて、中小製造業の活もつなげられる。用を促し、DX化を支。また、昨秋にアルム援する。さらに自社のコードを搭載した完全加工ノウハウを数値化 自動型切削加工ユニット「アルムコード」の開発「アルムファクトリー」機能も搭載し、内を発売し、ハードウェアは非公開や一部ユーアの分野に進出する方基本使用料やデータ使ザーとの共有、また公針も示した。複数の工用を抑えつつ、ソフ開も可能。使用料の微作機械、工具メーカー

平山社長は「30年までは完全自動化の領域に至り、ソフトが広く使用されれば」と展望する。さらに「今度人は人が付加価値を与える現場になれば」と期待を込める。(金沢) (随時掲載)

▷所在地=金沢市戸水1の61▷代表者=平山京幸氏
▷創業=06年(平18)8月▷資本金=4800万円▷従業員=25人▷売上高=6億1000万円(22年6月期)